

※文字の大きさは Meiryo UI /12 ポイント以上とし、行間・文字間、上下左右の余白は変更しないでください。
 ※具体的に示したい図、写真、表、グラフなどは、(写真 1) (表 1) などと文中に記載し、右ページに(写真 1) (表 1) などと表記の上、貼り付けてください。
 ※文章と図等を組み合わせながら作成することも可能です。各項目の枠の上下幅は変更可能です。
 ※いずれの場合も、必ず A 3 片面 1 枚におさまるように作成してください。ファイルサイズは 5 MB 以下としてください。

※事務局記入欄

【様式 2】

No. D-92

部門名： 校内研修プログラム開発・実践部門	エントリー名： 観音寺市立作田小学校 大麻 弘善 平成 30 年度第 1 回次世代リーダー育成研修
活動名： 校内若年教員研修 (授業力・学級経営力の強化と伝達)	
解決すべき課題： 先輩教員から若年教員への知識・技能の伝承 数年で半数近くの教員が入れ替わり若年教員が増えている状況にある学校現場においては、先輩教員から若年教員への知識・技能の伝承が急務であるにもかかわらず、うまく進んでいない状況にあることを解決すべき課題と捉える。	
目標・方針： 若年教員の授業力・学級経営力の向上 ① 若年教員が主体的に研修できる若年研修を行う。 ② 若年教員同士や校内の先輩教員の授業参観を自由にできるシステム作りを進める。	
活動内容： 授業力や学級経営力を身に付ける研修 ① 若年教員が主体的に研修できる若年研修を行う。 ・ 授業前に指導教諭と若年教員で練り合いながら、指導案を作り上げることで授業力を身に付ける。 ② 若年教員同士や校内の先輩教員の授業を自由に参観できるシステム作りを進める。 ・ 校内時間割を参考に、空き時間で授業参観が可能な時間を基に参観計画を作成して、参観を行い、学び合う。	
活動の成果： 授業力や学級経営について話し合う機会が増え、チームで高める職員集団となった。 ① 若年教員が 1 人で悩むのではなく、共に創り上げることにより、授業をプランニングする力だけでなく、先輩教員の授業に対する「思い」や「願い」を伝承する機会となった。 ② 授業参観日の放課後には、授業者と参観者が自然な形で振り返りを行う時間をとり、児童に指導した内容の種明かしや意図を話し合うなど有意義な時間を過ごすことができ、若年教員が成長できる場となった。	

アピールポイント (アイデアや工夫)

- ・ 若年教員が 1 人で悩むことなく、悩みを共有したり共感したりしながら、業務に取り組める。
- ・ 若年教員が成長できる機会となっている。
- ・ 形だけでなく、指導している内容の見えない部分 (思いや願い) が伝承できる。

〈授業参観計画〉

若年研修授業参観一覧

授業者	A教諭								B教諭				C教諭						
	国		理	算		社		社		算	理	国	社	国	(図)				
曜日・校時	金 1	月 5	木 2	木 1	火 4	月 4	金 5	火 1	月 3	火 5	木 1	月 4	金 5	月 5	月 2	木 4	火 4	火 6	
参観者	D	C	E	F	H	E	I	B	H	A	F	C	I	C	B	A	H	I	
				G					I		D	D			D			F	
				D					G										E
			C																G

授業者	D教諭					E教諭					F教諭						
	社	算	書	国		国		算	理	算	国		国		金 5		
曜日・校時	月 3	金 4	火 2	金 6	水 6	月 4	金 6	金 4	木 4	水 5	金 2	火 6	火 2	金 3	金 2	木 4	金 5
参観者	H	F	C	I	B	C	I	F	C	B	H	D	C	E	H	C	I
		G										I	B		B		

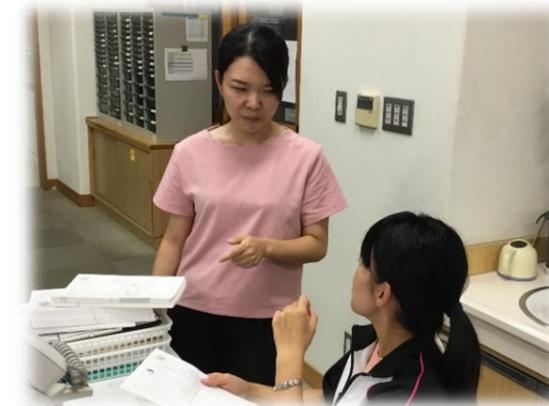
授業者	G教諭				H教諭			I教諭						
	算	国		国	算		算	生	国					
曜日・校時	火 2	金 2	木 4	金 5	木 1	火 2	木 2	水 3	月 2	金 1	月 4	木 1	火 4	金 3
参観者	C	H	C	I	F	C	D	E	B	D	C	F	H	E
	B					B						C		

※ A 教諭・・・指導教諭

※ B～I 教諭は、新規採用から経験 10 年目までの教諭

※ 授業の空き時間で参観できる時間を中心に編成して、一覧表作成した。

〈放課後の振り返りの様子〉



授業参観日の放課後、授業公開した教員と参観した教員が、その授業の指導内容の振り返りをしたり、指導した内容を裏付ける「思い」や「願い」の共有を図ったりする。